

科目名 **公共**

普通科必修
1年次・2単位

目標 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

位置づけ 次年度以降の「政治・経済」、進学者向け「発展政治経済」、「政経研究」につながるだけでなく、社会的な見方や考え方を日常の場面でも利用できるようになる事が必要です

■使用する教材

- ・教科書 ・資料集
- ・過去の模擬試験問題
- ・自作プリント ほか

■学習する単元とおおよその時期

- ・公共の扉（公共的な空間をつくる私たち 生命倫理、自立した主体となること）【4～5月】
- ・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち（法的・政治的・経済的な主体となる私たち、【6～2月】
- ・持続可能な社会づくりの主体となる私たち【3月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

本時の説明 教科書の確認

問いの提示 問いに対する解答をグループで考察
解答をグループごとに発表・解説

解答の説明

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
	B 現代の諸課題を捉え考察し、諸資料から活動するために必要となる情報を効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、基本的原理を活用して多面的・多角的に考察し公正に判断したり、構想したことを議論したりしている。	社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として現代の諸課題を解決しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、単元テスト 小テスト 課題の提出内容	定期考査、単元テスト 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

■領域ごとの授業時間数について（現代の国語、言語文化 のみ）

単元名								
話すこと・聞くこと								
書くこと								
読むこと								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■領域ごとの授業時間数について（英語コミュニケーションⅠ のみ）

単元名								
聞く								
読む								
書く								
話す（やりとり）								
話す（発表する）								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■自己評価について

授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。

- ・生徒自身が3観点について、振り返る
- ・生徒自身の取り組み方について
- ・教員の授業について